

松浦民報

2016年 8月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947
 ブログ「ゆう子のひろば」http://pub.ne.jp/yukoya/



日本共産党松浦市議会議員
安江ゆう子の市議会だより

日本共産党の安江ゆう子市議は定例6月議会で、子どもの貧困対策、水道事業の統合、後期高齢者医療の保険料軽減特例措置の維持、「つばき荘問題」の4点について一般質問をしました。

子どもの貧困対策は急務 子育て支援策の周知徹底を

子どもの6人に一人が貧困状態にあると言われています。生まれ育った家庭の事情等によって子どもたちの将来が閉ざされることはあってはなりません。

安江ゆう子市議は、学童保育料の補助・割引や、就学援助費の拡充などを求めました。

安江ゆう子市議の一般質問を受けて、子育て支援策のパンフレットなどを作成して活用することや、夏休み中の学童保育の利用料は所得などに合わせて見直しを検討することになりました。

安江 市内の小学校でも、朝食を食べずに登校する子供がいると先生からお話がありました。長崎県子どもの貧困対策推進方針が決められていますが、松浦市としてどのような見解ですか。

教育長 教育の支援、生活の支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援の4つの重点施策に取り組んでまいります。

安江 実態の把握はどうされていますか。

子育て・子ども課長 妊娠届出の際、家庭の状況について聞き取りを行います。その後、出産後の家庭訪問、乳幼児健診時の問診やアンケート調査により、育児状況や家庭環境の把握に努めています。ひとり親家庭に対する児童扶養手当の現況届け時、就労支援の際の聞き取りなど様々な場面で状況把握に努めています。

学校教育課長 子育て・子ども課及び福祉事務所からの情報提供や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー並びに各学校からの報告等により実情の把握に努めています。

各学校においては家庭訪問、個人面談、健康診断、毎日の健康観察で行っている。民生児童委員さんに話しを伺い状況の把握に努めている。

安江 放課後格差が広がっていると言われていますが、学習支援の拡大のため、夏休

みの期間だけ学童保育料の補助・割引について取り上げる考えはありませんか。



子育て・子ども課長 経済格差が放課後の過ごし方に格差を生み、それが学力格差につながり、生活の格差につながって行くという考え方が、現在、課として各小学校に放課後児童クラブを設置し、安心して過ごせる場を提供している。利用料は、通常の月が3000円、7月が5000円、8月が1万円と設定している。ひとり親家庭などには負担になる事も考えられるので、今後は所得にに応じた利用料などについても考慮して検討したい。

安江 国においては、就学援助項目にクラブ活動費、PTA会費、生徒会費の3項目が拡充されていますが、松浦

市では実施されていません。就学援助費を実施する場合の試算は幾らになりますか。

教育総務課長 昨年度の実績で、小・中学校合わせてクラブ活動費が162万円、生徒会費が20万5000円、PTA会費が115万5000円、総額298万円の増額となり、交付税措置されているので市の持ち出しは、約150万円となる。

安江 クラブ活動費だけでしたら、市の持ち出しは半分の80万円です。クラブ活動費だけでも拡充の考えはありますか。

市長 子どもの貧困対策については、重要な課題と認識している。全ての子ども達が夢と希望を持って成長できるように取り組んで参りたい。

安江 子ども達やその家庭がどういうふう困っているかに対して、市が行っている支援策のパンフレットなどを作成し、全庁的な活用を提案しますが、いかがですか。

子育て・子ども課長 今後、生活困窮世帯についての支援を記載し、一覧表などを作り、各課に配布しそれぞれの場で適切な支援が出来る様に努めたい。

参議院選挙の結果について

7月10日投票開票でおこなわれた参議院議員選挙は、野党と市民が力をあわせてたたかう、戦後かつてない選挙となりました。

野党と市民の共闘は、全国32の1人区すべてで野党統一候補を実現し、11の選挙区で自民党候補に勝利しました。

日本共産党は、比例代表選挙で5議席を獲得し、選挙区選挙では東京で当選を

松浦市各党の比例得票

	得票	得票率
共産	590	5.1%
自民	5,794	50.1%
民進	1,866	16.1%
公明	1,713	14.8%
維新	433	3.7%
生活	365	3.2%
社民	400	3.5%

選挙区の得票と比例票比 (敬称略)

	西岡秀子		金子原二郎		比例票		対比例票	
	得票	得票率	得票	得票率	自公票	4野党	金子	西岡
松浦市	4,040	33.5%	7,729	64.2%	7,507	3,221	103.0%	125.4%
県合計	285,743	44.9%	336,612	52.9%	363,428	203,463	92.6%	140.4%